

循環型社会及び一億総活躍社会の実現に向けて



オフィスの未来を創造し、地域社会の「働く」を支えます

地球と共存するサーキュラーエコノミーの実現

三森屋は、事業を通して環境に配慮した環境負荷の少ない製品及びサービスの提供に努め、循環型社会の実現と地球温暖化の抑制に寄与し、「持続可能な社会の構築」に貢献します。

サーキュラーパーク九州では、九州の「地域循環」モデルをつくり、これを広く共有し世界へ展開します。これまで捨てられていたモノを「資源」として循環させ、原材料の調達と廃棄処分を減らし、脱炭素に貢献します。

「株式会社三森屋」と「サーキュラーパーク九州株式会社」は、
企業のオフィス改革で大量に排出される使用済オフィス什器類の資源循環に取り組むことで
循環型社会の実現と脱炭素に貢献するとともに、多様な働き方を選択できる社会を構築します。

企業のオフィス改革に伴い排出される大量廃棄物への対応

2019年より厚生労働省が推進する「働き方改革」では「働く方の置かれた個々の事情に応じ、多様な働き方を選択できる社会を実現し、働く人一人ひとりがより良い将来の展望を持てるようにすることを目指す」としており、生産性の向上と柔軟な働き方の実現等を目的として企業の「オフィス改革」が進んでいます。

一方で、企業のオフィス改革の促進・拡大により、まだ使用可能なオフィス什器が大量に廃棄処分される等の社会課題が顕在化している状況です。

「三森屋」と「サーキュラーパーク九州」では、企業のオフィス改革により排出される大量の什器類の再利用・再資源化を促進させることで、循環型社会の実現と脱炭素に貢献するとともに、一億総活躍社会の実現に貢献します。

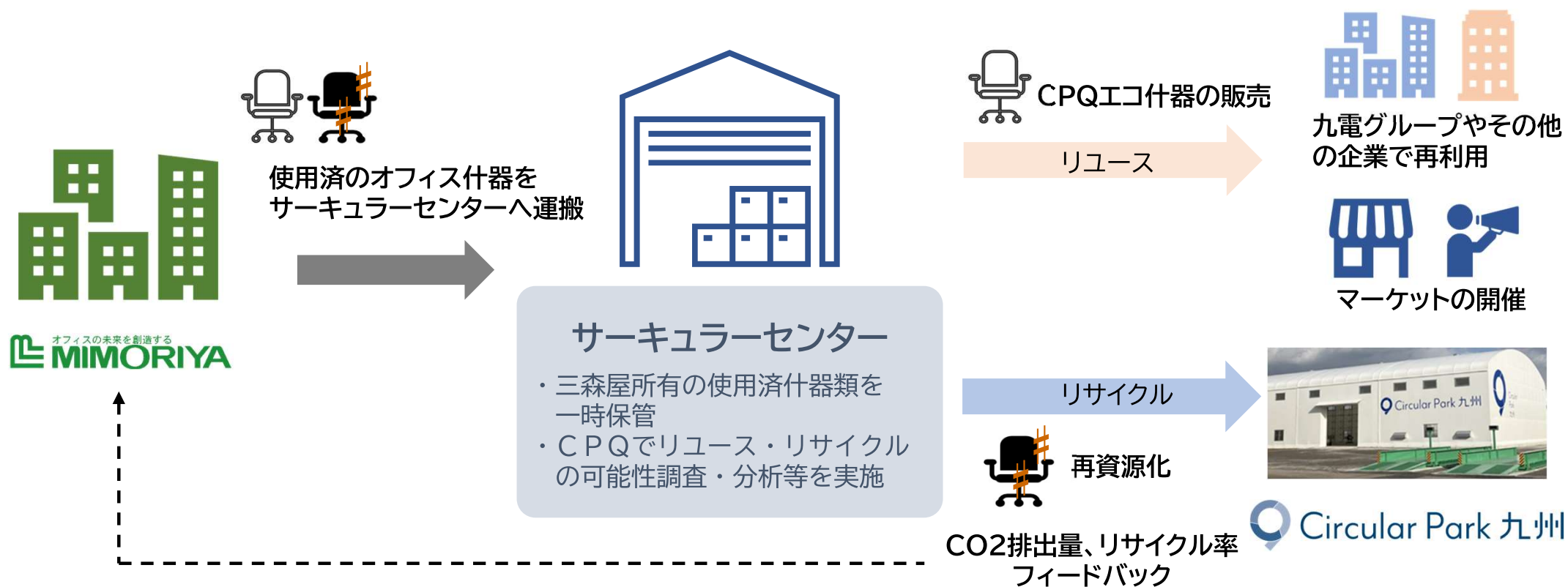


「サーキュラーセンター」の開設／「CPQエコ什器」の普及促進

これまで、まだ使用できるにも関わらず焼却・埋立処分されていた使用済オフィス什器を集約・保管し、再資源化までを一元管理する拠点として「サーキュラーセンター」を開設します。

サーキュラーセンターでは、三森屋が企業から引き取った什器を一時保管するとともに、CPQにてリユース・リサイクルに向けた可能性調査・分析を行い、最適な方法で再資源化を実施します。

また、サーキュラーセンターでリユースが可能と判断された什器については、廃棄や再生産に係るCO₂の排出が削減できることから、環境に配慮した「CPQエコ什器」として、販売・普及促進を行っていきます。



九州全域における地域循環モデルの確立に向けて

まずは、鹿児島エリアを対象に実証を行い、使用済什器の受入れ及びサーキュラーセンターでのリユース・リサイクルに向けた可能性調査・分析・適正処理の仕組みを構築してまいります。

その後、鹿児島エリア外の企業にも、順次同取組みを展開し、九州の地域循環モデルを構築していきます。

第1フェーズ



- ・地域循環モデルの確立に向けた実証の実施
- ・サーキュラーセンターでの仕組みの構築

第2フェーズ



- ・九州内での資源循環スキームの確立

第3フェーズ



- ・CPQエコ什器の普及促進に向けた販路拡大